

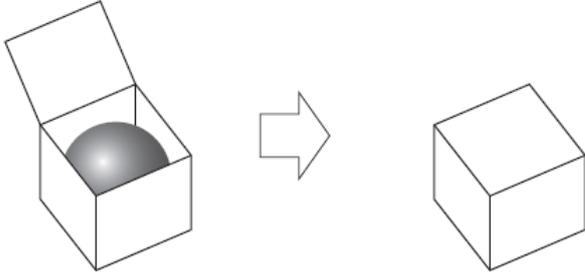
令和6年度全国学力・学習状況調査分析結果と改善方法

小美玉市立竹原小学校

児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるため、6年生を対象に全国学力・学習状況調査を行いました。調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

国 語	
分野	【書くこと】話し言葉と書き言葉の違いに気付く
設問	1 二(1) 学校の取組をオンラインで紹介し、交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する問題
問題文	<p>【オンライン交流の様子の一部】を読んで、木村さんの発言④を受けて、和田さんが発言③の話し方を発言⑤のように変えた理由として適切なものを選択する。</p> <p>【オンライン交流の様子の一部】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>③</p> <p>メールありがとうございました。図書委員会のことを知りたいということでしたので、まず、海風小学校の図書委員会の取り組みのしようかいて、読書イベントが、月に1回、図書委員会で、クイズなどをして、私もそれに参加して、今まで読んだことがない分野の本を読みました。</p> <p>④</p> <p>せっかく教えてもらったのですが、だれが何をしているのかが分からなくなったので、もう一度教えてもらえませんか。</p> <p>⑤</p> <p>説明がよくなかったですね。話し方を変えますね。図書委員会が、月に1回、クイズなどの読書イベントをしてくれます。私もクイズに参加しました。今まで読んだことがない分野の本を読むことができました。</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">選択肢</p> <p>1 言葉の順序に気をつけて短い文で話したほうがよいことに気づいたから。</p> <p>2 相手に応じて敬語を使ったほうがよいことに気づいたから。</p> <p>3 まちがった情報をすぐに直したほうがよいことに気づいたから。</p> <p>4 同じ音で異ことなる意味をもつ言葉を使わないほうがよいことに気づいたから。</p> </div> </div>
誤答例の分析と課題	誤答の多くは「敬語を使ったほうがよい。」と答えている。もともと敬語で話していることに気付いておらず、話し手が話し言葉の特性を踏まえ、言葉の順序に気を付けて短い文に区切った話し方に変えたことを捉えることができていないと考えられる。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉には、聞き手や場面の影響を強く受けながら表現や理解が進められるという特質がある。複雑な構文を避けた表現になっているか、聞き手や場面の状況を踏まえた発言になっているかなど相手や目的を一層意識しながら交流するようにする。 ・自分の考えが伝わる表現をしたり、話したりするよさに気付くため、交流を記録した動画や音声や文章に起こした資料を活用する場面を設定する。 ・作文や発表の際、常体や敬体の表現を意識しながら書いたり話したりすることで、敬語の意味を再度確認する。

算 数

分野	【図形】 思考・判断・表現
設問	3 (3) 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題
問題文	<p>直径2.2cmの球の形をしたボールがあります。</p>  <p>このボールがぴったり入る直方体の形をした紙の箱の体積を調べます。</p>  <p>この立方体の形をした紙の箱の体積が何cm³かを求める式を書きましょう。 ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。</p>
誤答例の分析と課題	<p>球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉えることはできているが、立方体の一つの面の面積の求め方を式にしていると考えられる。また、円の直径と円周率から体積を求めることができると誤って捉えている児童もいた。</p> <p>体積の単位とこれまでに学習した球の直径の長さや立方体を構成する要素との関係を考察できていないと考えられる。</p>
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の導入時には、日常生活を絡めながら実際に具体物を操作する活動を取り入れることにより、児童自らが解決方法を生み出せるようにする。 ・具体物を使うことから抽象的な概念へ変え、図形をイメージして、図形を構成する要素を見だし、立体の求め方を考えたり、式に表したりすることで、活用できる知識や技能を習得させるようにする。